



# 相知中が見逃せない

令和7年 5月号文責 校長 小松孝之

## 学校教育目標

“しなやかに・自分らしく・あなたらしく”

## 学校教育目標について

しなやかに … 柔軟に対応するチカラ「環境への適応、ダメージからの回復」

自分らしく … 自分の強みをしっかり発揮して

あなたらしく… 相手を敬うことを忘れない

予測不能な社会の中で、不意におとずれることへの適応力や回復力を養い、人との関わりの中で、相手への尊敬と気遣いを忘れず、しっかりと強みを表現できる人間に育ってほしい。との思いで、学校教育目標を定めました。

保護者・地域の皆様にも「学校教育目標」を覚えていただけると幸いです。

ボランティア！！ 見逃せない相知中

4/19<sub>土</sub>



相知中から4名の生徒がボランティア活動に参加しました。他校の校長先生からボランティアをしている表情がとてもよかったので声をかけ、写真を撮らせてもらったと電話がありました。休みを返上して虹の松原の清掃活動に参加した生徒のみなさん、とても素晴らしい行いです。みなさんの活動の様子を聞き、とても嬉しくなりました。



休みを返上して虹の松原の清掃活動に参加した生徒のみなさん、とても素晴らしい行いです。みなさんの活動の様子を聞き、とても嬉しくなりました。

少なくとも数人の校長先生からは、『見逃せない相知中』として、認識されたことと思います。このような積み重ねが噂となり、結局、自分たちの未来を切り拓くすべとなります。他のみなさんも善行は進んで行いましょう。

まずは、アクションです。アクション！！

## 性、相近し。習い、相遠し。(せい、あいちかし。ならい、あいとおし)

論語の一節です。「人は持って生まれた能力にあまり差はないけれど、育ち・習慣・教育・交友などの違いで大きな差ができてくる。」ということをお教えています。子どもたち一人ひとりの人生に、家庭や学校、地域社会が価値観や環境など良い方向付けをすることがいかに大切なのかを思い知らされます。

場にふさわしくないファッションや言動、マナー違反、注意をされると無視や逆切れ、このような現状が世間ではみられることも事実です。もともとはみんな素直でいい子。「三つ子の魂、百まで」と言われるように、心が柔軟なうちに、しっかりと「真・善・美」の価値観を育てたいものです。

昔、「みんな違ってみんないい」が流行りましたが、「個性」と「わがまま」は違います。学力と同じで、基礎の上に立って、初めて個性が花開くものです。数学は嫌いだから、掃除は嫌だから、と逃げていてはバランスの良い成長は期待できません。まずは基礎を習得して、それから個性に応じて得意なことを伸ばしてあげたいものです。

心の面での成長では、人として守るべき規範は、私たち大人がやって見せて、それを子供たちに習慣化させなくてはなりません。「いい習慣はいい人生をもたらす。人間は習慣が作り出すものだ。」と言われるように、子どもに良い習慣を身に着けさせることは、これからの人生を希望に満ちたものにするにつながります。ちなみに、良い習慣とは、あいさつをはじめとする公共マナー、公衆道徳を身に付けることが基本だと考えます。そして各家庭の考え方や流儀で良い習慣を形成してほしいと思います。

子どもの健やかな成長のためには、大人の率先垂範、協力が欠かせません。まずは私たち大人が、子ども達の良い見本となれるよう、お互い頑張りましょう。



【見帰りの滝】

## 連休を迎えるにあたって

5月のゴールデンウィークを迎えます。部活の練習試合や公式試合、発表会などゆっくりできない生徒も多いと思いますが、自己管理をしっかりと、充実した休みにしてほしいと思います。また、休み中は自由な時間が増えます。気のゆるみから、事件や事故に巻き込まれることのないようにご家庭でのご指導をお願いします。特に、SNSは注意が必要です。



【宮地嶽神社】